

止まらない！！ ディスクボルトの折損！

6月27日、仕業検査において、新幹線300系車両のブレーキディスクを車輪に固定するボルトの折損（ボルトの頭部が無くなっていた）が発見されました。このボルトはこれまでも数多く折損しており、会社は幾度となく改良を加え品質を向上させたと言明してきました。しかし、未だに折損が止まりません。これは真の原因が究明されていないと言えます。

折損が発見された車両はJR西日本に所属する車両ですが、JR東海も同種の300系車両を保有し現在も運行していることから、JR東海労は安全上極めて問題があるとして6月29日に一刻も早い原因の究明と対策の構築を求めて申し入れを行いました。

「申」第3号 新幹線300系車両のディスクボルト折損に関する申し入れ

1. ディスクボルト折損の詳細な状況を明らかにすること。
2. 折損した同種ボルトの自社編成への使用の有無を明らかにすること。
3. 当該車両の検査履歴を明らかにすること。
4. 当該車両の全般検査・台車検査からの走行距離を明らかにすること。
5. 折損事故から今日まで、ディスクボルトの一斉点検を指示しない理由を明らかにすること。
6. ディスクボルトへの超音波探傷を行っているが、その詳細なデータを開示すること。

早急に真の原因究明と対策の構築を！